

八戸市のスポーツ環境と学校体育施設利用の現状について

柄本和吉*・和田敬世**

About the present use condition of sports environments and facilities for school physical education in the City of Hachinohe

Kazuyosi TSUKAMOTO, Takayo WADA

Abstract

The sports demand is increasing in the background of the growing of free times, interests in building up our physical strength and being healthy with decreasing of work hours due to industrial machines and the development of robot. Prefectures, cities, towns and villages play a key role with an athletic meet, mountain climbing and following a promenade. These events about the health and physical strength are held. They begin from the recreation and news of sports where everyone can join easily everywhere, every time.

In Aomori Prefecture, the governor, Mr. Kimura, announced 「Standing up with Sports」 on July 11th 1999. They developed the policy of reinforcement that is about sports promotions making use of sports environments and regional characteristics, then tried to improve competitions, corresponding to many needs included persons of advanced age and handicapped persons from children. So, we are just making progress for an establishment of 「Aomori Prefecture is the city that gets close to Sports, and is strong in Sports」.

Key words: life-long sports

はじめに

八戸市。市制施行は、八戸町議会でもその是非をめぐって政党の対立などで揺れ動いたが、昭和4年5月1日に八戸町・小中野町・鮫村が合併して市制施行され、昭和38年には新産業都市に指定された。青森県東南に位置し、県庁所在地青森市まで約100km、首都東京から約650kmの距離にある。水産業・工業を中心として中核都市に著実に発展を遂げてきた。また、念願の東北新幹線盛岡以北が2002年12月1日に八戸開業を迎えた、今後青森県の観光事業等にも活況が期待できる。気候は東北地方の北部にありながら、太平洋側に位置しているため、冬は雪が少なく、日照時間が長いのが特徴である、寒さの厳しい日はそれほど多くはない。また、夏は比較的過ごしやすく、梅雨の不快さはあまり感じないが、春から夏にかけての冷涼な偏東風（ヤマセ）が吹くことも当地方の特徴といえる。

地勢はおおむね平坦であるが、南方はわずかに台地を形成している、市の中心を流れる馬淵川・新井田川はともに岩手県に発し、両河川の河口を中心に漁港・商港・工業港が整備されている。北部には、十和田湖から流れ出る奥入瀬川（相坂川）が百石町との境界となっている。東方に太平洋に面して海岸線が長く延びている、広大な天然芝や咲き乱れる海岸植物が美しい名勝地・種差海岸やウミネコの繁殖地として天然記念物に指定された蕪島

など、豊かな自然を有している。

総面積 213.97 km² (市街化区域 57.47, 市街化調整区域 156.50), 人口 241,920 人 (男 116,917, 女 125,003), 児童・生徒数 24,158 人, 65 歳以上 38,167 人。学校数は、小学校 44 校 (私立 1 校含む), 中学校 22 校である, 生まれてくる子供の数は減少傾向にあり, 少子化が進んでいるのが現状である。

我が国同様八戸市においても、国際化、情報化の進展、産業構造の変革、高齢化、少子化の進行などに対応して、様々な面で改革が必要とされている。今後の展望を考えると、市民が生涯にわたって心身ともに健康な生活を営むことのできる環境づくりが急務となってきている。

東京オリンピックのメモリアルとして発足した、「体育の日」、国をあげて健康・体力向上の運動をはじめとするスポーツのイベントが盛んに行われるようになった。

労働時間の減少に伴い自由時間の増大、体力・健康づくりへの関心の高まりなどを背景にスポーツ需要が増大しており、誰でもがいつでもどこでも気軽に参加できるレクリエーションスポーツ・ニュースポーツをはじめとして運動会、登山、遊歩道散策など区市町村が中心となって健康・体力についての催しが行われている。

今から 16 年前に “21 世紀は超高齢日本” とあり、65 歳

表1 八戸市の男女別人口推移

年 別	総 数	男	女
平成 2 年	241,057	116,551	124,506
平成 7 年	242,654	117,268	125,386
平成 12 年	241,920	116,917	125,003

平成 14 年 12 月 26 日受理

* 総合教育センター講師

** 総合教育センター助教授